

住宅防音工事施工時の感染症対策

宣言

社) 日本ハウジング協会では、全ての関係者も含めて積極的に感染症対策に取り組むことを宣言します。

社員・職人等関係者の日常の取り組み

関係者全員が感染者にならたないために、新しい生活様式を実践し感染防止対策に取り組めます。

1. 業務中の対策

- ① テレワークを基本とし社内での密集状態を作らない。
- ② 会議は、最小限にし、実施する際には距離を取り換気をしながら行う。
- ③ 現場への移動は、個別とし自動車の相乗りは避ける。
- ④ 現場と自宅の直行直帰の推奨。
- ⑤ 移動中の経路や立寄先も含めて感染防止対策に努める。
- ⑥ 休憩は、少人数で交代制とし会話を避ける。
- ⑦ 業務中は大声で会話しない。

2. 健康管理

- ① 日常生活において十分な食事と休息に留意する。
- ② 休日も不要不急の外出は控える。
- ③ 3密となるプライベートの食事会は行わない。
- ④ 毎日検温し、37.0 以上の発熱の場合には出勤しない。

* 咽頭痛、味覚障害などの症状を感じた時も同様。

接客・施工中の感染対策

1. 基本対策

- ① マスク着用（三層マスク）による飛散防止する。
- ② 手洗い・アルコールによる手指の消毒を徹底する。
- ③ 清潔な服装、特に靴下はお客様のご訪問毎に交換する。

2. 入室時の注意

- ① 入室前に手指を消毒してからドアノブを触れる。
- ② ゾーニングし、限定された作業場所のみに入る。
- ③ 入室人数は最低限にする

3. 作業中（打合中）の注意

- ① お客様との面談は、健康な方の一名を限定する。
 - * 糖尿病、心臓病など疾病をお持ちの方、乳幼児との会話や接触を避ける。
- ② お客様との会話では、ソーシャルディスタンス（社会的距離）を意識する。
 - * 状況によっては、電話での会話にする。
- ③ 作業中（打合せ中）は、窓を2か所以上開けて常に換気を行う。
 - * 扇風機があれば外に向けて風を流す
- ④ 施工中では、室内の物品には養生をして必要以外の部分には極力触れない
 - * 室内の小物などはお客様自身に移動又は保管していただく。
- ⑤ 資材、工具、文具は搬入前に 0.05%次亜塩素酸ナトリウム液又はアルコール消毒液で清掃する。
 - * **【0.05%次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方】**
水3ℓにハイターのキャップ1杯（25mℓ）を入れる
（水2ℓ→16mℓ（大さじ1杯（15mℓ）強）
清掃時には、手袋を着用する。金属製のものは、水拭きする（錆がでる）

4. 退出時の注意

- ① 機材等は他人が触れないように養生しておく。
- ② アルコール消毒液などで手指を消毒して帰宅する。
- ③ 換気が済んだら窓を施錠して退出する。

5. 毎日の業務完了（作業完了）時の清掃

- ① 養生を撤去し、消毒剤で拭き上げる。
 - * 特にサッシ内側のアルミ枠やクレセントは丁寧に拭く。

感染者が発生した場合の対応

1. 社団の対応

- ① 社員が新型コロナウイルスに感染した場合には、安全が確認するまで休業とします。
- ② 社員は全員感染の有無が確認されるまで自宅待機とします。
- ③ 社員、職人に感染者が出た場合には、直ちに接触者に告知し対応を行います。

2. 施工途中の現場の対応

- ① 工事中に職人等に感染が発生した場合には、直ちに工事を中止し工期延期等の相談をさせていただきます。
- ② 状況によって、安全が確認できている他の職人に引き継がせていただく場合がございます。

